

令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果について

大山町教育委員会

令和8年4月23日(木)をはじめとする指定期日に実施された「令和8年度 全国学力・学習状況調査」の大山町の結果について公表します。

今年度、小学校は、国語・算数、中学校は、国語・数学・英語についての学力調査と質問調査が行われました。町内の各学校では、この結果を一つの手がかりとし、成果と課題を明らかにして、日々の教育活動に生かしていくこととしています。

大山町教育委員会では、各学校の取組の進捗状況を把握しつつ、より質の高い教育の実現に向けて、様々な施策の充実に取り組んでいきます。

[調査の概要]

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象

小学校第6学年及び中学校第3学年の原則として全児童生徒

3 調査内容

ア 教科に関する調査

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

イ 質問調査（児童生徒質問調査）

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

4 調査日時

小学校国語・算数、中学校国語・数学・・・令和8年4月23日(木)
中学校英語、児童質問、生徒質問・・・・・・指定された期日

5 大山町の参加状況

参加学校数 7校（小学校4校、中学校3校）

参加児童生徒数 195人（小学校6年生93人、中学校3年生102人）

6 調査結果の処理

学力調査・質問紙調査の結果とも、国がデータ処理したものと大山町が独自にデータ処理したものを使用している。

※ 結果の分析に当たって、国及び県の平均正答率等の差に応じて、次のように表現している。

○差が1%未満の場合		「ほぼ同等」
○差が1%以上5%未満の場合		「やや高い（低い）」 「やや多い（少ない）」 「やや大きい（小さい）」
○差が5%以上10%未満の場合		「高い（低い）」 「多い（少ない）」 「大きい（小さい）」
○差が10%以上の場合		「かなり高い（低い）」 「かなり多い（少ない）」 「かなり大きい（小さい）」